

# 鳥取県青少年育成アドバイザー 協議会通信

鳥取県青少年育成アドバイザー通信 57 号  
鳥取県青少年育成アドバイザー協議会  
発行日 2010. 12. 24  
編集 芳村恵子  
〒680-0002 鳥取市浜坂東 1-10-15

## 二つのありがとう

西上 洋治

自分の身近にある「ありがとう」を紹介し  
ます。

一つは、今私の父は要介護認定二の状態で、  
自分の家で生活しています。初めは認定四で  
したが、かなり回復し九月より認定二になっ  
ています。ベットから自力で起きられるよう  
になりました。右足を少し引きずっていますが  
手押し車を使ってトイレにも行くことがで  
きるようになりました。風呂をはじめいろい  
ろな所に手すりを大工さんに取り付けてもら  
っています。脱衣場にも着替えの時必要にな  
り、ホームセンターから購入し本人の生活状  
態に合わせ、高さなどを調整し取り付けまし  
た。手すりに掴まって自力で行動しようとし  
ている父の姿にありがとうの気持ちで一杯で  
す。

生きようとする姿に感動です。母も一生懸  
命手助けをしています。時には昔のように腹  
を立て大声を出すこともあるようで、夕食時  
に母のぐちを聞くこともできるようになりま  
した。「大声を出すぐらい元気になったな」と  
思えばいいがと話しますが、けんかをした時  
は、母は畑に仕事に行っているようです。



二つ目の「ありがとう」は、時々顔を出す居  
酒屋に来ている仲間たちの姿です。

年老いた七十がらみのおかみさんが切り盛  
りしています。食べ物の定番は焼き鳥、ぬか  
漬の「こうこ」(おしんこ)、冷奴、今は湯  
豆腐など、ご馳走があるわけでもないが人気  
があり、多くの人が集まってきます。ビール  
や焼酎を飲みながら若い日の出来事や村の様  
子、だれその消息、たわいもない話が飛び  
交います。底抜けにほがらかに振舞っていま  
す。

たまに心配事があるのか暗い顔をしていた  
人も、誰かに話しかけられしゃべっているう  
ちに、表情が変わってきます。

その中の一人のせりふ

「おい、みんな、人生というものはな、意気  
に感じなくてはいかんのよ。そうだ意気、こ  
ころ意気なくて、何が人生かよ。おれは、そ  
の日暮だけだよ、それでいいのよ。みんな、  
こころ意気ちゆうもんはな、元気でなくちゃ  
あいかん。そのためにも病気をしたらあかん。  
まず、元気で健康でなくてはな。そのために、  
ここに来ておいしい酒を飲むのよ。な、みん  
な、機嫌よく飲もう。そうだろう、おかあさ  
ん。」

「いいぞ。だけど、これ以上飲んだら体を壊  
すぞ。」

「そうですね。じゃあ、今夜はこれでおしま  
い。」

楽しく飲み、語らい、相手を思いあう心  
を感じ、ありがとうの時間を過ごすことができ  
ています。



“大人が変われば、子どもも変わる”

<活動事例集>

『21世紀への贈り物—心に響く提言』

(青少年育成国民会議)より

限りなく前向きな理解を

松永 しのぶ

生まれる場所も時代も選べないけど、  
この世に存在できたことが嬉しいと思える。  
そんな自分が好きである。

状況を真正面から受けとめ、

自分を確認しながら生きていきたい。

人は自分が好きなとき、  
 周りの人や物を限りなく前向きに  
 理解できるのではないかと思う。  
 皆がそうなったとき、  
 人は自然に溶け込み、  
 地球は穏やかになれるような気がする。  
 子どもにも『自分が好きだ』と  
 思える大人になってほしい  
 —そんな土壌をつくってあげたい。  
 そして、私の中にそう思える土台を  
 育ててくれた両親に、  
 心から『ありがとう』と伝えたい。



生きる

—わたしたちの思い—

谷川俊太郎

より

## 『命』

母という強力にして永遠の  
 味方をすでに手に入れた  
 わたし

あなたのまねばかりして  
 おおきくなった  
 わたし

あなたのえがおをひきついで  
 あなたにありがとうといえること

生きるということ  
 いま生きているということ

あなたに  
 ありがとうということ

Molly

花が好きで、料理が好きで、気がつけば沢庵の切り方  
 まで真似をして育ちました。離れて暮らすこの頃、人  
 に『笑顔がいいね』と言ってもらえた時、母の顔が浮  
 かんで、それは紛れもなく母から譲り受けた宝物であ  
 る事に気づかされます。母の日に「何も要らんよ」と  
 言う彼女に、私が出来心からの「生きる」ことで、  
 そしてこれがつながっていくことを願っています。



生きるということ  
 お母さんと笑うということ  
 お母さんとケンカするという  
 お母さんの手伝いするという  
 お母さんと唄うということ  
 そしていつか私もお母さんになるということ  
 生きるということ

ayaco300

この世界に生まれた日から、私の成長をずっと見守り、  
 支えてきてくれたお母さん。だけど、お母さんとも  
 に生きてきたと思えるようになったのは二十歳を過ぎ  
 てからでした。お母さんの強さ、温かさ気づいた日、  
 「ありがとう」と涙が止まりませんでした。

角川 SSC

## 編集後記

今年の漢字が「暑」に決まりました。本当に暑か  
 ったなあと思いつつ、のどもと過ぎれば…。  
 もう寒いこの冬の乗り切り方を考えています。

庭には、山茶花や椿が、この季節を飾ってくれて  
 います。もうすぐ、赤い花を雪がおおうようになる  
 でしょう。

皆さんもお元気で、新しい年をお迎えください。  
 今回も「ありがとう」づくしにしました。次回も、  
 たくさんの「ありがとう」のお話をお寄せください。  
 お待ちしています。



oine.oine.oinechan@fork.ocn.ne.jp  
 (word で入れてください)